



提出 令和7年9月24日

一般質問通告書

☐一括方式

☒一問一答方式

質問
順番

2

東海村議会議長 河野 健一 様

議席番号 13 番 議員氏名 岡崎 悟

質問事項 (件名)	村長選挙リーフレットから	答弁者
要旨（具体的に） 村長選挙リーフレット、こども・わかもの世代のための②に、こども・わかもの意見を反映する仕組みづくり、こども・わかものが自由に意見を表明したり、やりたいことなどの意見を聴取できる仕組みを創り、行政の施策に反映するとある。地域で暮らす子どもの意見を聞くことで、大人では気付かない地域の特色や課題に即した政策が生まれることを期待したいが、もう少し具体的な説明を求める。 また、村長選挙リーフレット、こども・わかもの世代のための③こどもの居場所づくりの整備と④わかものが集い繋がれる拠点の整備について伺う。この③では、こどもたち（特に中学生）にとって、家庭でもなく学校でもない、第三の居場所を整備する。④では、わかものたちが気軽に集い、仲間の繋がりを創り、主体的に活動するための拠点を整備するとある。ここで言う「第三の居場所」と「活動拠点」の整備について、どのようなものを想定しているのか伺う。		

質問事項 (件名)	難病医療費助成制度に関連して	答弁者
要旨（具体的に） 指定難病の医療費助成を受けるには、特定医療費（指定難病）受給者証が必要である。難病指定医が作成した臨床調査個人票（診断書）と住民票の写しなどの書類を添えて、ひたちなか保健所の窓口で、受給者証発行申請を行う必要がある。この難病医療費助成申請は、毎年専門医による診断書の作成が必要で、この診断書の更新には数千円の費用がかかる。指定難病の患者本人やそのご家族は、今後の治療のことなどを考えて、不安であろうと考える。その不安を取り除く励ましの1つとして、毎年更新に必要な診断書作成費用への助成ができないか。本村の考えを伺う。		

乙 表

氏 名	岡崎 悟	No. 2
-----	------	-------

質問事項 (件名)	乳児の頭蓋骨矯正ヘルメット助成について	答弁者
要旨（具体的に） 赤ちゃんの頭のゆがみには様々な原因や程度があり、全てのケースにおいてヘルメット治療が受けられるものではない。原因としては頭蓋骨早期縫合癒合症などの病気によるものと、向き癖などの外部からの圧力によるものがある。主に外部圧力が原因で変形していて、かつ変形の程度が中等以上の場合に適応される。具体的には、外力によって生じた変形であること、頭のゆがみが中等度から重度であること、頭の成長が活発な生後3か月から6か月頃であることである。 現在ヘルメット治療費は、保険適用外のため医療機関や導入している頭蓋形状矯正ヘルメットによって異なり、診療費やヘルメット費用等で、約30万円から約60万円の幅がある。子育てをしている保護者の経済的、そして精神的負担は大きいと考える。購入費の補助制度があることで、必要な時に利用できる。転ばぬ先の杖である。赤ちゃんの頭蓋骨矯正ヘルメットの購入費への補助、考えていただきたい。本村の考えを伺う。		

質問事項 (件名)		答弁者
要旨（具体的に）		